



新たな任期がスタート
民生・児童委員の皆さんを紹介します

12月1日、厚生労働大臣の委嘱を受け、民生児童委員の新たな任期が始まりました。民生児童委員は、住民の見守りや支援を行い、地域福祉の推進を担います。また、行政機関の業務に対する協力も職務の一つになっています。任期は3年間で、令和10年11月30日までとなっています。

民生・児童委員の皆さんは、地域住民の福祉の相談役です。どうぞよろしくお願いします。

金婚おめでとうございます 結婚50周年をお祝いしました

6組のご夫婦が、めでたく金婚の節目を迎えられました。お祝いの気持ちを込めて、杉岡村長が褒状と記念品をお届けし、対話を通して、ご夫婦の歩んできた道のりやこれまでのエピソード、円満の秘訣などを教えていただきました。ここでは3組のご夫婦のお話を紹介します。※掲載は順不同です。



菅野清 さん・榮久子 さん (草野)

家族仲良く笑顔で暮らそう
村でスポーツ推進委員や体育指導員を務める清さんと、妻の榮久子さん。最初の出会いは小学校だったそうです。若い頃から旅行を楽しんでいて、今も友達と一緒に旅に出かけています。「夫婦もちろん、家族全員で仲良く笑顔で暮らす事が、円満の秘訣です」と清さん。お孫さんからももらった金婚記念の写真を浮かべながら、うれしそうに笑顔を浮かべていました。

感謝の気持ちを大切に
長年民生委員として活動していた正美さんと妻の幸子さん。正美さんは、「山あり、谷あり、楽ばかりの50年ではなかったけれど、たくさんの方々と何より妻に恵まれました」と優しい笑顔を浮かべます。「互いの欠点を見るのではなく、よいところを見続けること、どんなことでも当たり前と思わずに感謝すること」が夫婦円満の秘訣と語りました。



菅野正美 さん・幸子 さん (佐須)



赤石澤榮 さん・敏子 さん (臼石) ※写真は赤石澤さん提供

地域の人に恵まれました
村でラーメン店を営み、震災後も仮設住宅で営業を続けていた赤石澤さんご夫婦。「大変だった時も、いろいろなイベントを地域の中で共に行ってきた。地域の人に本当に恵まれた」としみじみ語ります。仲良しの秘訣は、「お互いを理解し合っている所」とのこと。「夫婦としてはもちろん、家族や地域の人達と、手を取り合っていきたい」とこやかに語りました。